

新型インフルエンザ対策について

新型インフルエンザは、従前のインフルエンザに比べ、特に病原性が高いとはいえないが、妊娠している方や基礎疾患のある方、乳幼児は、重症化する恐れがあるとされており、国内では、そういった方々の重症例や死亡例も報告されている。

県は、感染拡大防止のため、先月下旬に、学校関係者との連絡会議を開催し、今月1日には、新型インフルエンザ対策本部会議を開催し、県内での流行に備え、対応方針を決定した。その後、今月3日には、インフルエンザ注意報を発令し、県民に対し、流行期の注意事項等の注意喚起を行ったところである。

1 新型インフルエンザの発生状況等

- ・ 定点医療機関あたりの患者の報告数（8月24日～30日）
 1. 21（全国41番目、全国平均：2.52）
- ・ 県内の集団発生件数（9月7日現在）
 - 52件（内訳：学校36、社会福祉施設11、その他5）

2 抗インフルエンザウイルス薬の備蓄について

平成18、19年度の2か年で16.2万人分のタミフルを備蓄していたが、国の備蓄目標量が引き上げられたことを受け、平成21～22年度の2か年で、タミフルとリレンザ合わせて、22.17万人分を追加備蓄することとしていた。

しかしながら、新型インフルエンザの国内発生を受け、本年度中に備蓄を完了することとし、約10万人分のタミフルは、9月末までに、残りについても年度内に納入予定となっている。

3 ワクチンについて

国は、今月4日に、「新型インフルエンザワクチンの接種について（素案）」を公表し、ワクチン接種の優先対象者として、医療従事者、妊婦、基礎疾患を有する者、小児（1歳～就学前）、1歳未満の小児の両親を示したところである。

国は、今後、専門家や患者団体との意見交換を経て、医療機関との調整や住民への周知等を行い、国内製造ワクチンが出荷される10月下旬から、ワクチン接種が順次開始される予定である。県は、国からワクチン接種の方針が決定され次第、速やかに、県民への安全な接種が実施できるよう必要な対応を行いたい。

4 今後の県の対策について

急激な新型インフルエンザの感染拡大の防止を図るため、学校や福祉施設の管理者が、自らの責任で、手洗い・うがいの励行等の感染拡大防止に取り組むことを基本に、学校の学級閉鎖等の基準を明確に示した。

また、適切な医療を提供できる体制を確保するために、すべての医療機関で外来受診が可能な体制を整えるとともに、入院治療は、原則として、重症患者を対象として行うこととした。

さらに、県民への普及啓発については、市町村広報紙への掲載やチラシ配布、街頭活動などにより、手洗い・うがいの励行や受診する際のマスクの着用等の呼びかけを行うなど、感染予防の取組を「新型インフルエンザをみんなで防ぐ県民運動」として展開することとしている。

インフルエンザの集団発生件数

平成21年9月7日 9時現在

保健所	集団の属性	確定患者検査日 情報把握日	有症状者及び 患者	状況	終結日	備考
井笠	その他	7月30日	10	終結	8月12日	
井笠	学校	7月31日	18	終結	8月11日	
岡山市	学校	8月4日	5	終結	8月11日	
備前	その他(高校)	8月4日	5	終結	8月12日	
備前	社会福祉施設	8月6日	15	終結	8月12日	
井笠	社会福祉施設	8月11日	7	終結	8月21日	
岡山市	学校	8月14日	2	終結	8月20日	
岡山市	学校	8月17日	10	終結	8月25日	
岡山市	学校	8月18日	4	終結	8月26日	
東備	学校	8月18日	4	終結	8月26日	
岡山市	学校	8月19日	8	終結	8月28日	
井笠	その他(小学校)	8月19日	8	終結	9月1日	
勝英	その他	8月19日	15	終結	9月5日	
岡山市	学校	8月20日	3	終結	8月28日	
井笠	学校	8月21日	12	終結	9月5日	
美作	その他(小学校)	8月24日	33	終結	8月31日	
岡山市	社会福祉施設	8月24日	4	継続		
岡山市	学校	8月24日	8	継続		
美作	社会福祉施設	8月25日	35	終結	9月4日	
岡山市	学校	8月25日	3	終結	9月7日	
岡山市	学校	8月25日	7	継続		
東備	学校	8月25日	25	継続		
岡山市	学校	8月25日	5	継続		
井笠	学校	8月26日	3	終結	8月31日	
井笠	社会福祉施設	8月26日	13	終結	9月7日	
備中	社会福祉施設	8月26日	29	終結	9月7日	
備前	学校	8月26日	22	終結	9月7日	
岡山市	社会福祉施設	8月26日	6	継続		
岡山市	学校	8月26日	7	継続		
美作	社会福祉施設	8月27日	6	継続		
美作	学校	8月27日	7	終結	9月7日	
岡山市	学校	8月27日	7	継続		
岡山市	学校	8月28日	2	継続		
岡山市	社会福祉施設	8月29日	3	継続		
井笠	学校	8月29日	3	終結	9月7日	
備前	社会福祉施設	8月30日	4	終結	9月7日	
備中	学校	8月31日	3	終結	9月7日	
岡山市	学校	8月31日	10	継続		
岡山市	学校	9月1日	3	継続		
倉敷市	学校	9月1日	3	継続		
岡山市	学校	9月2日	4	継続		
備中	学校	9月3日	4	継続		
美作	学校	9月3日	13	継続		
真庭	学校	9月3日	37	継続		
美作	学校	9月4日	2	継続		
倉敷市	社会福祉施設	9月4日	3	継続		
美作	学校	9月7日	2	継続		
倉敷市	学校	9月7日	25	継続		
倉敷市	学校	9月7日	7	継続		
岡山市	学校	9月7日	8	継続		
岡山市	学校	9月7日	8	継続		
岡山市	学校	9月7日	25	継続		
計	学校 36 社会福祉施設 11 その他 5		515	終結 26 継続 26		

保健所・支所別発生状況

	7月27日 ~ 8月2日	8月3日 ~ 8月9日	8月10日 ~ 8月16日	8月17日 ~ 8月23日	8月24日 ~ 8月30日	8月31日 ~ 9月6日	9月7日 ~ 9月7日	計
備前保健所		2			2			4
東備支所				1	1			2
備中保健所					1	2		3
井笠支所	2		1	2	3			8
備北保健所								0
新見支所								0
真庭保健所						1		1
美作保健所					4	2	1	7
勝英支所				1				1
岡山市保健所		1	1	4	10	3	3	22
倉敷市保健所						2	2	4
計	2	3	2	8	21	10	6	52

タミフル及びリレンザの備蓄計画(国及び県)

(万人)

【タミフル】		H18～H19	H20	H21～H23
総備蓄量	5,460	2,500	300	2,660
行政備蓄量	5,060	2,100	0	2,660
	政府備蓄量	2,680	1,050	300
	都道府県備蓄量	2,380	1,050	↑ 予防投与用
	岡山県備蓄量	36.34	16.2	
流通備蓄量	400	400	0	0

【リレンザ】		H18～H19	H20	H21～H23
総備蓄量	401	135	0	266
行政備蓄量	401	135	0	266
	政府備蓄量	268	135	0
	都道府県備蓄量	133	0	0
	岡山県備蓄量	2.03		
流通備蓄量	0	0	0	0

【タミフル+リレンザ】		H18～H19	H20	H21～H23
総備蓄量	5,861	2,635	300	2,926
行政備蓄量	5,461	2,235	0	2,926
	政府備蓄量	2,948	1,185	300
	都道府県備蓄量	2,513	1,050	0
	岡山県備蓄量	38.37	16.2	
流通備蓄量	400	400	0	0

ワクチン接種の対象者と理由(素案)

対象者	理由	参考人数
医療従事者 (救急隊員含む)	インフルエンザ患者から感染するリスクが高く、医療体制に支障を来す恐れがある ↳ 必要な医療体制を維持するために接種が必要	約100万人
妊婦	新型インフルエンザに罹患して、重症化、死亡する割合が高い ↳ 死亡者や重症者を減らすために接種が必要	約100万人
基礎疾患を有する者		約900万人
小児 (1歳～就学前)	乳児の入院率が高く、幼児の重症例がある、小児の感染率が高い ↳ 死亡者や重症者を減らすために接種が必要 ※ただし、1歳未満の小児は、予防接種による効果が小さい →1歳未満の小児の親に接種	約600万人
1歳未満の小児の両親		約200万人
小中高校生	発症者の多数が10代以下の若年層。発症者数が多いため、相対的に重症者数が多い発生のおそれ ↳ 死亡者や重症者を減らすために接種が望ましい	約1,400万人
高齢者 (65歳以上)	現時点では、発症者数は少ないが、今後、患者数が増加した場合、重症化する高齢者が多数発生する可能性 ↳ 死亡者や重症者を減らすために接種が望ましい	約2,100万人 (基礎疾患を有する者を除く)
優先接種対象者		
その他		

※参考人数については、精査の段階で変更があり得る。

出典:「新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチンの接種について(素案)」厚生労働省より